

# 水のみち部門

## 江戸時代からの背割り下水および環濠の保存活動

NPO ごせまちネットワーク・創



寛保2（1742）年御所町検地絵図（白線部が水路・赤線部が通り）



環濠と野面積



一斉清掃活動の様子



写真、環濠を照会するガイド

奈良県御所市における江戸時代の御所町地域（旧御所町）に現存する16世紀中ごろにできた環濠と、17世紀初めにできた背割り下水は、寛保2（1742）年の検地絵図の通りに、ほぼそのままの形で残っており、現在も現役の下水道施設として使用されています。これらに対する市民の歴史的意義の理解を得るとともに、下水道の接続率の向上についての啓発を図り、浚え等に対する市民の協力を得る活動をしています。また、町を訪れた人たちに、前述の検地絵図との対比や古い石積みについて説明しています。